

TOKYO TEST FEST 2025 発表資料

アーキテクチャ変更時におけるテスト戦略の 再考とAI活用の試み

Tommy (@TomitaHiroshi_)/ 株式会社ナレッジワーク

_KNOWLEDGE WORK

はじめに



株式会社 ナレッジワーク QA Engineer

富田 浩史 (Tomita Hiroshi)
Tommy

プロダクトのQAを担当

経歴

他業種からQAエンジニアにジョブチェンジし、
スマートフォンや医療関連などのQAを経験した後、
2023年10月にナレッジワークにQAエンジニアとして入社

趣味

ラーメン(食べる&作る)

ナレッジワーク会社概要

_KNOWLEDGE WORK



創業日

2020年4月1日

代表者

麻野 耕司

資本金

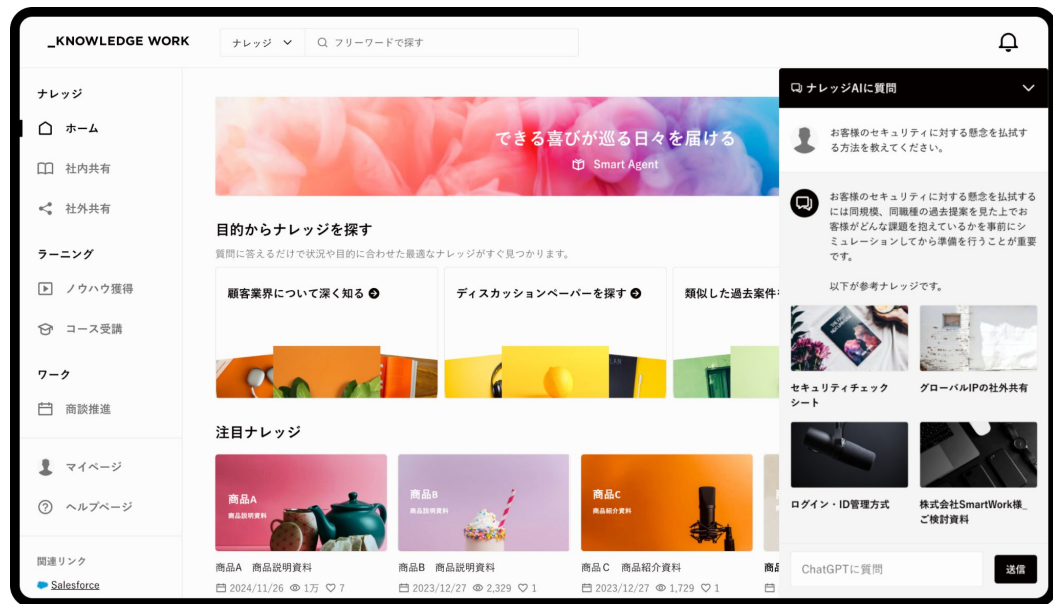
61.3億円(資本準備金等含む)

事業内容

ナレッジワークの開発・提供

主な株主

グロービス・キャピタル・パートナーズ、DNX Ventures、WiL
One Capital、ANRI、XTech、Salesforce Ventures
ユーザベース、フォースタートアップス、Sansan



みんなが売れる営業になる
セールスイネーブルメント AIなら
ナレッジワーク

_KNOWLEDGE WORK

営業担当の支援をするプロダクト
「ナレッジワーク」を提供しています

本編

テスト分析

テスト設計

テスト実装

テスト実行

本発表スコープ

アーキテクチャ変更時における テスト分析・テスト設計での AI活用

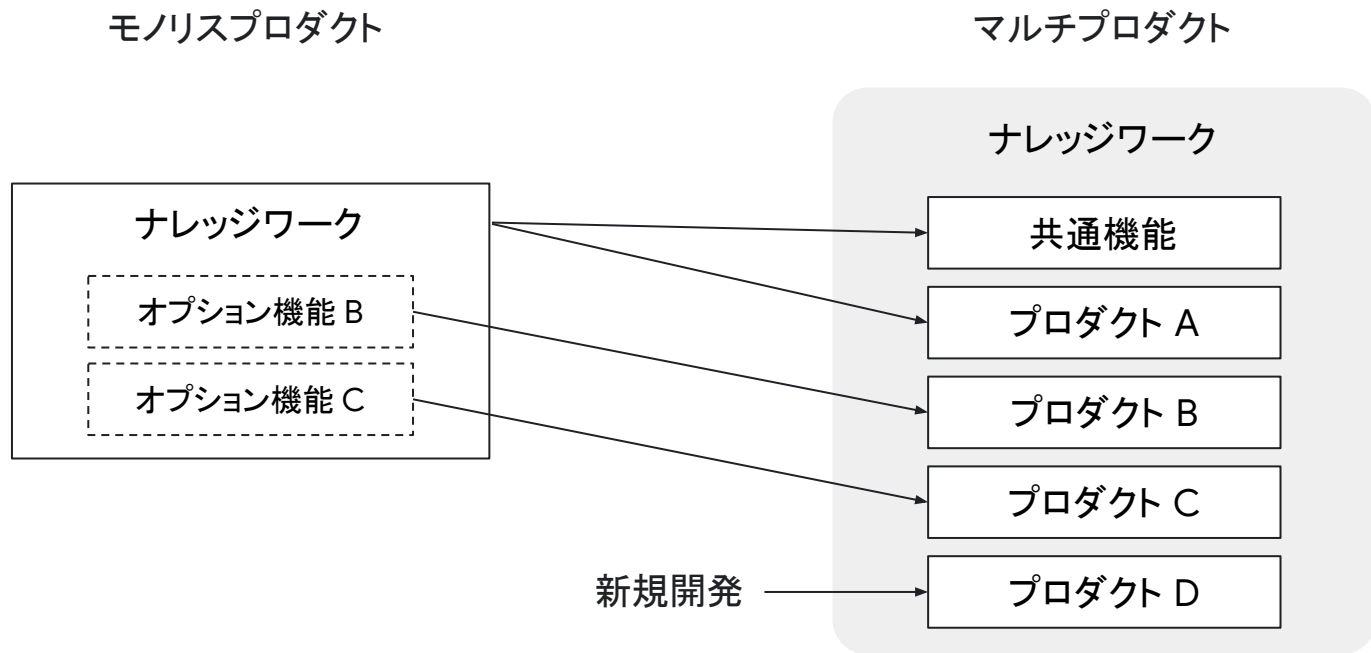
**アーキテクチャ変更時のテストに悩む方や
これから挑戦する方に
具体的なヒントを持ち帰っていただくこと**

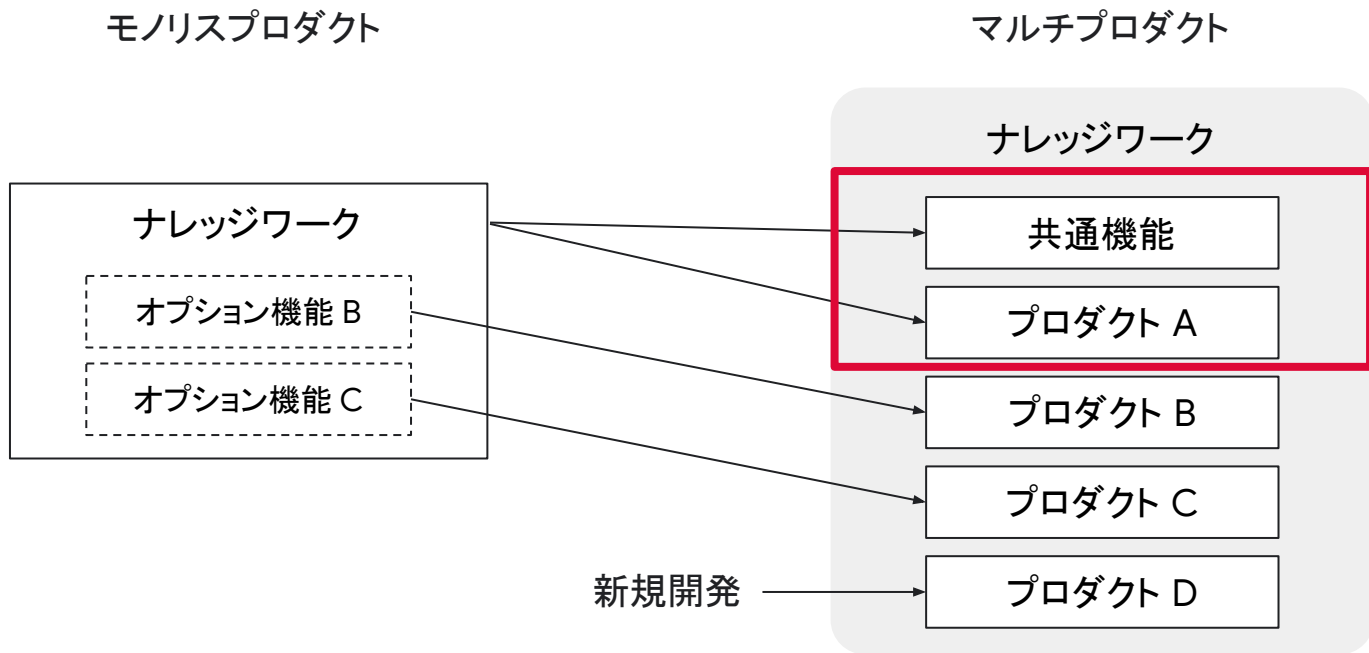
- 背景
- 問題と課題
- 取り組み
- まとめと最後に

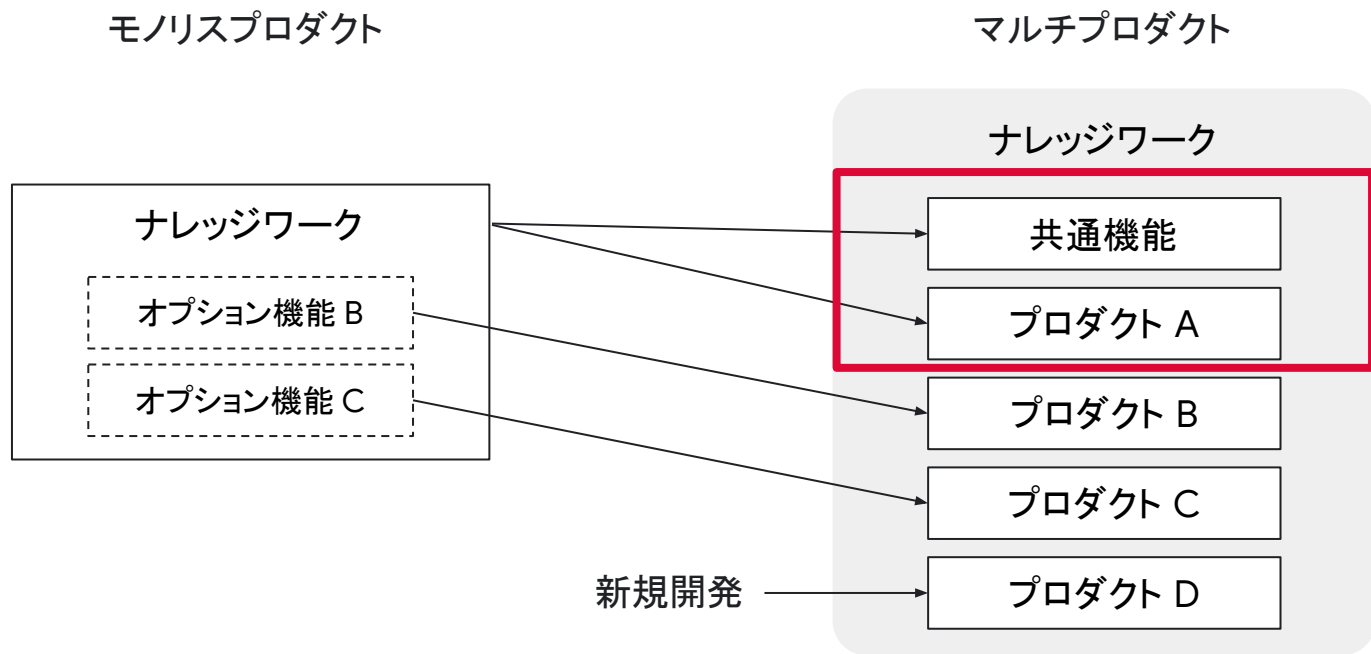
背景

単一PRODUCTからマルチPRODUCTへ

モノリスから自律分散アーキテクチャへ







機能に着目したリグレッションテストを実施する

- **背景**
- **➡問題と課題**
- **取り組み**
- **まとめと最後に**

問題と課題

想定外のバグが流出した

特定のケースでエラーが発生する

テスト対象:リソースを表示する機能

ステップ	ハッピーパス	エラーケース (バグが発生したケース)
1.作成	ユーザー Aがリソースを作成する	「ユーザー A」がリソースを作成する
2.更新	ユーザー Aがリソースを更新する	「ユーザー B」がリソースを更新する
3.削除	「ユーザー A」がリソースを削除する	「ユーザー C」がリソースを削除する
期待する結果	ユーザー Aが削除画面で削除したリソースを閲覧できる	ユーザー Aが削除画面でリソースを閲覧しようするとエラーになる

特定の条件を満たすとエラーが発生する

**機能に着目したリグレーションテストでは
検出が難しい**

- **背景**
- **問題と課題**
- **➡取り組み**
- **まとめと最後に**

取り組み

システムの内部処理に着目した リグレッションテストを実施する

システムの内部処理を理解する

**システムの内部処理について
ドキュメント化はされていない**

ソースコード

**ソースコードを読まないと
システムの内部処理はわからない**

AIを活用する

AIを活用してシステムの内容処理を理解しながら テスト分析やテスト設計を行う

テスト分析・設計時に Ask Devinを活用する

リポジトリを対象に対話型で質問や調査ができるツール



ここで活用

Ask Devinの活用内容

- テスト対象の機能で使用されている RPCの処理をAsk Devinで調査する

RPC名「GetResource」のテストを検討しています。

以下のフォーマットで教えていただけますか？

- RPCの目的
- 処理の流れ
- リクエストパラメータ /レスポンス
- 本RPCを使用するための UI操作手順
- RPCテストの観点
- マニュアルテストの観点

テスト分析

テスト設計

テスト実装

テスト実行

テスト分析

- Ask Devinの回答結果でテスト対象の理解を深める
- Ask Devinの回答結果をもとにテスト分析を行う
- 不明なことは開発者に確認して解消する

テスト設計

- テストベースに Ask Devinの回答結果を使用してテスト設計を行う

Ask Devinによりシステムの内部処理に着目した テスト分析・設計が容易に行える



←Ask Devinについて記事(筆者:登壇者)

ブログタイトル: QAエンジニアが Devinで仕様理解を加速させる

- 背景
- 問題と課題
- 取り組み
- ➡まとめと最後に

まとめと最後に

**AIを活用することで
システムの内部処理に着目することができる**

**アーキテクチャ変更時のリグレッションテストで
システムの内部処理に着目することは重要である**

LIFE WITH ENABLEMENT

できる喜びが巡る日々を届ける